

「マレーシア経済連携調査2017」開催結果

九州経済国際化推進機構（以下、機構）は、2017年3月12日（日）～17日（金）にかけて、マレーシア（クアラルンプール、ジョホール・バル）へ経済交流ミッション（団長：麻生泰 九州経済国際化推進機構会長）を派遣しました。

今回のミッションは、2020年までの先進国・高所得国入りの目標を掲げているマレーシアのポテンシャルを再発見するとともに、新たなビジネスの可能性を調査することが目的で、九州の企業、教育機関、団体などから27名が参加し、（1）九州企業の対マレーシア投資促進、（2）九州—マレーシア間の学術交流活性化、（3）イスカンダル地域の可能性の探索を主軸として、視察、勉強会、意見交換等を行いました。

複数の民族、宗教、言語が入り混じる中、日常会話で英語が使い、親日国でもあるマレーシアの多様性に大きな魅力と今後の可能性を感じるとともに、現地日系企業との座談会や交流会、イスカンダル開発地域や学校機関などの視察により、進出が期待される分野や、マレーシアでの人材の活かし方・経営の在り方、産学連携の可能性、日本との教育環境の違いなど、多岐に亘って「生きた情報」を手に入れることができ、マレーシアの投資先としての魅力を再発見する場となりました。

（1）九州企業の対マレーシア投資促進

①マレーシア投資開発庁（以下、MIDA）訪問

九州からマレーシアへ進出予定である前田機工株式会社（本ミッション参加企業）からプレゼンを行い、九州企業のマレーシア進出について、MIDAのY. Bhg Dato' Azman Mahmud CEO（以下、アズマンCEO）と麻生泰九州経済国際化推進機構 会長（以下、麻生会長）、高橋直人九州経済産業局長（以下、高橋局長）らと意見交換を行いました。

さらに、高橋局長より、同企業のマレーシア進出について必要なライセンスの早期付与及び関係機関への対応を要請し、アズマンCEOからは、「Pioneer Status について、製造ライセンス申請を受理後、早急に対応する。また、MIDAからペナン市に対してビジネスライセンス付与の早期対応を要請する。」との発言をいただきました。（その後、3月20日にペナン市からのビジネスライセンスが付与された。）

同社のマレーシア進出を契機として、日系企業の進出に必要な手続きの円滑化や、マレーシアとのさらなる相互理解が図られ、九州とマレーシア間の経済交流がより活発になることが期待されます。

（MIDAと機構は2015年にMOU（了解覚書：Memorandum of Understanding）を締結。）

②在マレーシア日本国大使館訪問

兒玉（こだま）良則 公使と面談し、九州企業のマレーシア進出に関する意見交換を実施しました。兒玉公使からは、「マレーシアへ進出する九州企業からの相談対応及び課題解決に向けた協力を行う。」旨の発言がありました。

(2) 九州—マレーシア間の学術・人材交流活性化

① 共同研究について

マレーシアプトラ大学(以下、UPM)を訪問し、UPMと九州工業大学の共同研究の促進に関するLOI (Letter of Intent : 趣意書) の調印式を実施しました。

また、同時に共同研究の現場視察や概要説明により、意欲的な取組の可能性について理解を深めることができました。

同LOIにより、両大学間の連携が促進するとともに、本取組がマレーシアの大学と九州の大学との連携のモデルケースとして位置づけられることで、今後のマレーシアとの共同研究の取組が促進されることが期待されます。

② 人材交流について

UPMの学生並びに言語能力促進センター(CALC)で日本語を学ぶ学生及び九州工業大学の海外インターンシップ生並びにミッション参加者による交流及びディスカッションを行い、両国の文化や企業人材のあり方等について相互理解を深めました。

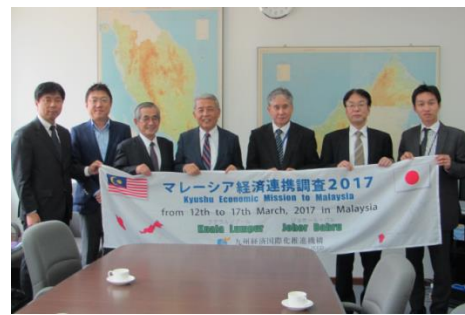
(3) イスカンダル地域の可能性の探索

マレーシアの5大重要開発計画地域(※)の一つに指定され、教育、金融、ヘルスケア、情報通信技術及びクリエイティブ産業、ロジスティクス、観光の分野が重点産業とされているイスカンダル地域の最新の情報や現在の取り組みについての説明を受けつつ、視察及び意見交換を行いました。ミッション参加企業はイスカンダル地域の最新の開発現場を目の当たりにし、投資先としてのマレーシアのさらなる可能性を感じることができました。

(※) マレーシア政府が2006年からの第9次5カ年計画において指定している地域であり、イスカンダル地域の他に半島北部、半島東部、サバ地域、サラワク地域での開発計画が進められている。



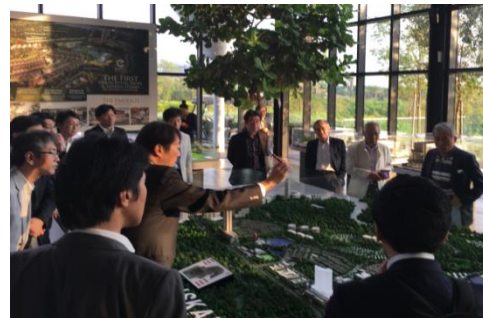
「MIDA訪問」
マレーシア投資開発庁(MIDA) アズマン CEO
九州経済産業局 高橋 直人 局長
九州経済国際化推進機構 麻生 泰 会長
(左から)



「在マレーシア日本国大使館訪問」
在マレーシア日本国大使館 兒玉 良則 公使
(右から3番目)




「マレーシアプトラ大学(UPM)でのLOI調印式」
マレーシアプトラ大学 アイニ 学長
九州工業大学 尾家 祐二 学長
九州経済国際化推進機構 麻生 泰 会長
九州経済産業局 高橋 直人 局長
(左から4番目から)




「イスカンダル地域視察」

各プログラムの概要

<p>事業：マレーシア投資環境勉強会</p>	
<p>日時：3月13日（月）9：30～10：30</p>	
<p>概要：（独）日本貿易振興機構（JETRO）クアラルンプール事務所にて、マレーシアの政治・経済等に関するブリーフィングを受けました。</p>	

<p>事業：マレーシア投資開発庁（MIDA）表敬訪問</p>	 
<p>日時：3月13日（月）11：30～12：10</p>	
<p>概要：MIDA訪問では、九州からマレーシアへ進出予定である前田機工株式会社（本ミッション参加企業）からプレゼンを行い、九州企業のマレーシア進出について、MIDAのアズマンCEOと麻生会長、高橋局長らと意見交換を行いました。</p> <p>さらに、高橋局長より、同企業のマレーシア進出について必要なライセンスの早期付与及び関係機関への対応を要請し、アズマンCEOからは、「Pioneer Status について、製造ライセンス申請を受理後、早急に対応する。また、MIDAからペナン市に対してビジネスライセンス付与の早期対応を要請する。」との発言をいただきました。（その後、3月20日にペナン市からのビジネスライセンスが付与された。）</p> <p>同社のマレーシア進出を契機として、日系企業の進出に必要な手続きの円滑化や、マレーシアとの相互さらなる理解が図られ、九州とマレーシア間の経済交流がより活発になることが期待されます。</p>	

<p>事業：【視察班】進出日系企業との座談会</p>	
<p>日時：3月13日（月）14：00～16：30</p>	
<p>概要：（第1部）マレーシアの最新経済状況や事業運営の実際の苦労等について、現地進出企業のマレーシアみずほ銀行、TOTO MALAYSIA SDN. BHD. の方々を講師としたセミナーを開催しました。</p> <p>（第2部）現地進出企業に加え、マレーシア日本人商会議所（JACTIM）、在マレーシア日本国大使館、（独）国際協力機構（JICA）マレーシア事務所の方々にも</p>	

出席していただき、「マレーシアビジネスの魅力(可能性)と課題について」、「グローバル人材(インターンシップ・教育)の育成・確保について」をテーマとして座談会を実施し、意見交換を行いました。



事業：【表敬班】在マレーシア日本国大使館表敬訪問

日時：3月13日(月) 14:00～15:00

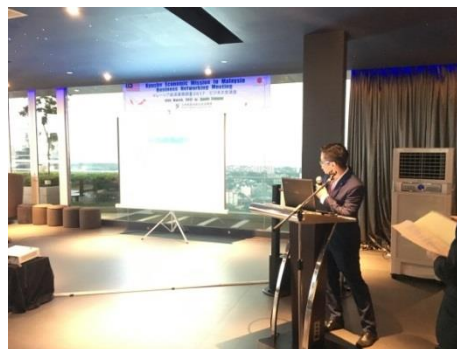
概要：九州国際化推進機構会長 麻生泰並びに九州経済産業局長 高橋直人及びマレーシア進出予定企業2社による、在マレーシア日本国大使館への表敬訪問を行いました。在マレーシア日本国大使館 兒玉公使との面談では、九州企業のマレーシア進出に関して意見交換を実施し、兒玉公使から、「マレーシアへ進出する九州企業からの相談対応及び課題解決に向けた協力を行う」旨の御発言をいただきました。(終了後、表敬班は座談会に合流)



事業：夕食交流会

日時：3月13日(月) 17:30～20:00

概要：MIDA、マレーシア企業、マレーシア日本人商工会議所(JACTIM)、JICAマレーシア事務所、マレーシア日本国際工科院、JETROクアラルンプール事務所、在マレーシア日本国大使館等とミッション参加者による夕食交流会を実施しました。MIDAの推薦企業によるプレゼンテーションや、現地関係機関及び進出日系企業との意見交換を通じ、情報収集やネットワーク構築を図りました。



事業：マレーシア日本人商工会議所(JACTIM)

日時：3月14日(火) 9:30～11:00

概要：JACTIMにて、JACTIMとミッション参加者によるマレーシアの経済状況等に関する意見交換を行いました。



事業：マレーシアプトラ大学（UPM）訪問

日時：3月14日（火）12:00～18:00

概要：

① 共同研究の促進

UPMを訪問し、UPMと九州工業大学の共同研究の促進に関するLOIの調印式を実施しました。同LOIにより両大学間の連携が促進するとともに、本取組がマレーシア大学と九州の大学との連携のモデルケースとして位置づけられることで、今後のマレーシアとの共同研究の取組が促進されることが期待されます。

② 人材交流の促進

UPMの学生並びに言語能力促進センター（CALC）で日本語を学ぶ学生及び九州工業大学の海外インターンシップ生並びにミッション参加者による交流を行い、英語でのプレゼンによるコミュニケーション能力の向上や、参加者間のディスカッションによる、両国の文化や企業人材のあり方等について相互理解を深め、両国の発展に寄与する人材の育成を図りました。

3月14日（火）

- ・昼食会
- ・LOI調印式
- ・記念写真撮影
- ・午後プレゼンテーション（プログラムは以下のとおり）

第1部（産学連携）

九州工業大学の在マレーシア日系企業含む海外企業インターンシッププログラムの紹介（実績と成果）

Presenter

九工大
安藤特任准教授

Introduction of Cases of Industry Academia Collaboration and Future Possibilities

Prof.
Dr. Norhisam
Mison

日本とマレーシアを繋ぐ産学連携について

九工大
白井教授

九州工業大学による御挨拶

尾家学長

第2部（教育）

Learning Japanese Language at Universiti Putra Malaysia

Ms. Farah
Nurzakiah
Ahmad
Tajuddin
(CALC 教員)

Nihongo Expectation and Challenges

UPM 学生


Creating Global Human Capital


九工大学生

Tea time 交流会


- ・意見交換
- ・麻生会長による総評
- ・UPM アイニ学長による総評



<p>事業：プトラジャヤ視察</p>	
<p>日時：3月15日（水）10：00～11：00</p>	
<p>概要：行政新首都として、中央省庁の各機関をクアラルンプールから移転した計画都市、プトラジャヤを訪問し、マレーシアの先進的なまちづくりについて視察しました。</p>	

<p>事業：イスカンダル地域勉強会及び視察</p>	
<p>日時：3月15日（水）16：30～17：30</p>	
<p>概要：イスカンダル計画の中心地ヌサジャヤ地区におけるメディニエリア(900ha)へ事業参画している Medini Iskandar Malaysia (MIM社)、イスカンダル地域開発に携わる政府機関 Iskandar Regional Development Authority (IRDA)より、イスカンダル地域の概要や取組についてブリーフィングを受けました。</p>	

<p>事業：エデュシティ視察</p>	
<p>日時：3月16日（木）10：45～11：45</p>	
<p>概要：EduCity Iskandar Malaysia 社より、約 280ha の敷地に大学、高等教育機関、スポーツ設備、学生寮などが集積したエデュシティについてのブリーフィングを受けました。また、ラッフルズアメリカンスクール、レディング大学を視察し、教育のあり方についての意見交換及び教育機関を主としたまちづくりについて視察を行いました。</p>	

<p>事業：ヌサジャヤテックパーク視察</p>	
<p>日時：3月16日（木）11：45～12：45</p>	
<p>概要：イスカンダル地域の敷地 210ha に開発された、工業団地「ヌサジャヤテックパーク」を視察し、マレーシア進出の現状及び取り組み状況について確認し、今後の進出の際の検討の一助としました。</p>	

以上